



第19回 「Claude Code in Action」 第7回
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

GitHub と見直し

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Claude Code in Action / GitHub Actions and Code Review

第7回「Codeレビュー」の続きにあたります

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第19回



Claude Code in Action の第7回

原題 GitHub Actions and Code Review

訳 GitHub と見直し

繰り返しの仕事を手渡すのに、いちばん良い場所は「送り込みの
願い出」でした

やり方は2つ



原石工房

引き受ける困りごとが、それぞれ違う

任せる道

Anthropic が動かしている見直し

オンにするだけ。その場に指摘が付く

自分で組む道

GitHub の自動の仕掛け

見直しより先のことをさせたいとき

繰り返しの仕事を手渡すなら、送り込みの願い出の上で

任せる側から始めて、必要が出たら自動の仕掛けへ移る

任せる道 Anthropic が動かしている見直しを、オンにするだけ

自分で組む道 GitHub の自動の仕掛けを、自分で書く

引き受ける困りごとが、それぞれ違います

まず任せる。足りなければ組む

どちらを使うか



原石工房

送り込みの願い出を見直したい

任せる側をオンにする

その場に指摘が付く。直すのは手元で

見直しより先をさせたい

自動の仕掛けを使う

呼べば応える流れと、時刻を決めた流れの2本

迷ったら

任せる側から始める

組み立ての流れの中で動かす必要が出てから移る

任せる側から始める

① 任せる道



原石工房

原題 The Managed Path: Code Review

いつ動かすかを、3つから選ぶ

願い出が出たときに1回だけ

いちばん軽い

押し込まれるたび

そのつど見直す

書き込みで呼んだときだけ

こちらの合図で動く

動くのは Anthropic の側。置く場所も、作るものもない

オンにするところから始まる

作るものも、置く場所もありません。オンにするだけです

いつ動かすかは3とおり。願い出が出たとき／押し込まれるたび／呼んだときだけ

動くのは Anthropic の側です

① 見直しは、変えた行だけを見ない



原石工房

見直しは、変えた行だけを見ない

やること

- ・変えたところを、プロジェクト全体と突き合わせて読む
- ・その場所書き込みを付ける。重さの印とまとめの表つき
- ・同じ指摘はまとめられ、順番が付く

やらないこと

- ・願い出を通すことも、止めることもしない。決めるのは人
- ・自動で直す仕組みは、ここには付いていない
- ・まだ試しの段階 (チーム向け・企業向けの契約で)

流れはこうなる

願い出の上で見つける → 手元に持ってきて、手元で直す

直すときの命令は「`/code-review --fix`」

変えたところを、プロジェクト全体と突き合わせて読みます

見つけたことは、その場所への書き込みとして付きます

重さの印が付き、まとめの表も添えられます

見つけるのは機械、決めるのは人

② やらないこと



原石工房

原題 What Code Review Will and Won't Do

見直しは、変えた行だけを見ない

やること

- ・変えたところを、プロジェクト全体と突き合わせて読む
- ・その場所に書き込みを付ける。重さの印とまとめの表つき
- ・同じ指摘はまとめられ、順番が付く

やらないこと

- ・願い出を通すことも、止めることもしない。決めるのは人
- ・自動で直す仕組みは、ここには付いていない
- ・まだ試しの段階 (チーム向け・企業向けの契約で)

流れはこうなる

願い出の上で見つける → 手元に持ってきて、手元で直す

直すときの命令は「`/code-review --fix`」

願い出を通すことも、止めることも
しません。決めるのは人のままです

自動で直す仕組みは、ここには付い
ていません

直すのは手元。見つけたことを当て
る命令があります

見つけるのは機械、決めるのは人

③ 自分で組む道



原石工房

原題 The Do-It-Yourself Path: The GitHub Action

見直しより先のことをさせたいとき

実際に書き換えさせる

確定を押し込み、書き込みを返す

決めた時刻に報告を出させる

毎日のまとめを、決まった時刻に

自分で決めた流れを回す

GitHub で起きるどんなことからでも

動き方は、渡す指定で合わせる

- ・ループの回数に、きつい上限を置く
- ・見ていない仕事では、止まって聞かせない段階にする
- ・使わせる道具は、その仕事にいるものだけ

書き込むだけでなく、動かしたいなら

使うのは、見直しより先のことをさせたいときです

実際に書き換えさせる／決めた時刻に報告を出させる／自分の流れを回す

GitHub で起きるどんなことからでも動かせます

④ 呼べば応える流れ



原石工房

原題 A Workflow That Responds to @claude

流れを書いたファイルを、決まった場所に置きます

願い出と、困りごとの書き込みの両方で、呼びかけを聞いています

呼ぶと、仕掛けがそれを拾い、Claude が確定を押し込み、書き込みを返します

⑤ 決めた時刻に動く流れ



原石工房

原題 A Workflow That Runs on a Schedule

同じ仕掛けが、毎日のまとめにも使えます

時刻を決めた繰り返しで動かします

画面のボタンから、手で動かす仕掛けも足しておけます

⑥ 動き方を合わせる



原石工房

原題 Tuning the Run with claude_args

見直しより先のことをさせたいとき

実際に書き換えさせる

確定を押し込み、書き込みを返す

決めた時刻に報告を出させる

毎日のまとめを、決まった時刻に

自分で決めた流れを回す

GitHub で起きるどんなことからでも

動き方は、渡す指定で合わせる

- ・ループの回数に、きつい上限を置く
- ・見ていない仕事では、止まって聞かせない段階にする
- ・使わせる道具は、その仕事にいるものだけ

ループの回数に、きつい上限を置きます

見ていない仕事では、止まって聞かせない段階にします

使わせる道具は、その仕事にいるものだけを渡します

書き込むだけでなく、動かしたいなら

今回のまとめ



原石工房

手渡す場所は、送り込みの願い出

見つけるのは機械、決めるのは人のまま

任せる側は、オンにするだけで始まる

先のことをさせたいなら、自分で組む道へ

動き方は、回数・許す段階・道具で合わせる



Claude Code in Action の第8回

原題 Trust it: Verifying unsupervised runs

訳 見ていない間の仕事を確かめる

任せた結果を、どう信じるかの回です

全51回の、20回目です

あなたなら、どこまでを機械に見てもらいますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く